



日本建塗 株式会社  
代表取締役

**葛西 祐介**

1982年生まれ、北海道出身。10代から建設業界に入り、とび職や足場職人を経験。18歳で入社した住宅専門会社で塗装の仕事を始める。10年間の研さんを積んだ後、2010年に独立して個人事業主でのキャリアをスタート。2022年、それまでの実績を引き継ぐ形で法人化し、日本建塗（株）として再スタートした。

# 理想を上回る施工で高い満足度を実現 細やかな対応力が強みの建築塗装会社

札幌市を拠点に塗装工事全般を手がける日本建塗（株）。住宅から商業施設まで、あらゆる建物の外壁、屋根、内装を塗装し、確かな技術と対応力で顧客の信頼を獲得している。経験豊富な職人チームを率いる葛西社長の経営哲学に、タレントの矢部美穂さんが迫った。

**仲間を守りながら事業拡大**

矢部 葛西社長は、塗装のお仕事に携わられてもう長いそうですね。

葛西 はい。10代で職人になり、一度は別業界も経験したのですが、昔から絵を描くなど美術系の作業が好きだったことから塗装の仕事に興味を持ち、そこからこの道を一筋に歩んできました。

矢部 独立については、当時から意識されていたのでしょうか？

葛西 そうですね、いつかは自分で会社を立ち上げたいと考えていました。ただ、塗装の仕事は特殊なものも多く、現場も新築工事から改修工事まで多岐にわたるため、付け焼き刃の技術・知識では通用しません。そこで、しっかり修業を積ん

だうえで独立する計画を立てていたのですが、28歳の時に前職を急きよ、退職することになり、予定より早くその日がやってきてしまったんです。

矢部 ご自身で思い描いていたのとは違う形で独立されたんですね。当初は苦労されたことも多かったのでは？

葛西 ゼロからのスタートだったので、仕事もなかなか増えず、正直、やらなければ良かったと思う日もありました。しかし、前職からの仲間が4人もついてきてくれていましたし、彼らを守らなければという気持ちで奮起して、がむしゃらに働き続けたんです。その期間に、いろいろな方と出会うことができ、少しずつ仕事も紹介していただけるようになって——13年目には法人化も果たせ



ました。当時から私を助けてくださった方や、苦しい時期に支えてくれた妻には本当に感謝しています。仲間たちの多くは独立していききましたが、今も一緒に仕事をしていますし、着実にステップアップしている手応えを感じているんです。

**顧客の理想を超える塗装工事を提供**

矢部 では、現在手がけていらっしゃるお仕事の内容についても、ぜひ詳しく教えてください。

葛西 戸建てやアパートを中心に、商業施設や学校などさまざまな建物の塗装工事を請け負っています。外壁、屋根、内装とあらゆる場所の塗装に対応させていただくのはもちろんのこと、シーリング工事や防水工事まで一貫してお任せいただける体制を整えているんです。

矢部 塗装に関わることなら何でもお願いできるんですね。施工される際に、心がけていらっしゃることはありますか？

葛西 高品質の施工を低価格でご提供する、という意識は常に持っています。お客様が求めている理想をどうやったら超えられるか、満足していただけるかを考えながら、日々電卓をたたいていますね。

矢部 そうした費用の計算も葛西社長がご自身でされているのですか？

葛西 はい。その辺りは自分でしっかり把握しておきたいという気持ちもあるため、私が全部やっています。お客様とのコミュニケーションも直接させていただ

きますし、お見積りや施工のことで行き違いが発生しないという点は、コンパクトな会社ならではの強みですね。

矢部 葛西社長が直接、要望を聞いてくださるとするのは、お客さんにとっても心強い限りだと思います。

葛西 そう言っていただけると嬉しいです。最近では、お客様も事前にいろいろと調べてからご依頼されることが多く、材料についての知識なども驚くほど豊富でいらしゃいます。しかし、ネット上の情報がすべて正しいわけではないですし、施工によって使う材料や費用は細かく変わってきますから、お話をうかがったうえで、プロとしてのご提案をさせていただいているんです。

**オールマイティな会社を目指して**

矢部 建設業界は今、人手不足が問題となっていますが、日本建塗（株）さんでは人材育成面でのどのような工夫をされているのでしょうか？

葛西 オンとオフの切り替えをしっかりとしつつ、基本的には和気あいあいとした雰囲気です。私の世代くらいまでは、上下関係が厳しく「仕事は見て覚えろ」と言われるのも当たり前でしたが、今は時代が変わりましたし、私自身もそういうやり方は好きではないので、明るい性格を生かして皆が伸び伸びと働ける環境をつくっているんです。私のところできちんと修業を積んで、1人でやっていけるくらいに育ってほしいと思っています。

矢部 お話をうかがっていると、葛西社長が楽しみながら今のお仕事に打ち込んでいらっしゃる様子が伝わってきます。

葛西 お客様のお家が目に見えてきれいになって、感謝の言葉をかけていただくと本当に嬉しくなりますし、やって良かったと思えるんです。また、私たちが手がけた現場がこの札幌市内に形としてどんどん残っていくというのも、この仕事の醍醐味だと感じています。

矢部 会社としてまだまだ飛躍されていくことと思います。将来のビジョンについても語っていただけますか？

葛西 これからも一つひとつの現場と真摯に向き合いつつ、マンションなど今以上に大規模な現場を任せいただけるよう精進し、お客様のあらゆるご要望にお応えできる「オールマイティな会社」を目指していきたいですね。そのためには、共に働くスタッフも増やしたいと考えています。仲間は多ければそのぶん、私も頑張れるので、やる気がある方は、ぜひ当社と一緒に働きましょう。

Guest Comment>>

**矢部 美穂（タレント）**

「塗装の仕事は汚れやすいからこそ、なるべくきれいな作業着で現場へ行くよう、皆に伝えています」と語ってくださった葛西社長。そうした細やかなところまで気配りができるからこそ、ここまで着実にお客様との信頼関係を築いてこられたのでしょうね。社長のもとでなら、若く優秀な職人さんも育ちそうです。この先も北海道の塗装業を力強く支えてください！

